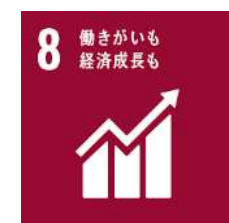




Japan Platform for Migrant Workers  
towards Responsible and Inclusive Society



# JP-MIRAIの取り組み（ハイライト）

会員数： 設立時 51 → **484団体・個人**



# その1. JP-MIRAIポータル(アプリ)



Japan Platform for Migrant Workers  
towards Responsible and Inclusive Society

日本を目指すあなたに  
日本で働く(又は暮らす)あなたに

外国人向け情報ポータルサイト  
**JP-MIRAI ポータル**



2022年  
公開

**アプリ化予定**

責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム(JP-MIRAI)が運営する外国人向け情報ポータルサイトが、2022年3月ついにスタートします！



外国人にとって  
必要な情報をひとつに集約  
くらし、仕事、住居、日本で暮らすときに役立つ  
役立つこと、トラブル等。



9言語対応  
日本語、英語、中国語、ベトナム語、タイ  
ロ語、インドネシア語、ミャンマー語、  
ポルトガル語、スペイン語



各在留資格に対応  
高専入国、技能実習、特許技能、留学etc.



今後リリース予定  
スマホアプリにも対応  
iOS、Androidスマホアプリの提供でいつ  
もスムーズにアクセス



アクセスはこちらから  
<https://portal.jp-mirai.org/>



メールでのお問い合わせ  
[portal@jp-mirai.org](mailto:portal@jp-mirai.org)

## 【特徴その1】

海外(送出し国)での普及により、日本の魅力や(キャリア形成)、制度や正しい参加方法などについて発信。

## 【特徴その2】

日本国内では、生活や労働上必要な知識を分かりやすく解説し、公的機関のホームページへ誘導。

## 【特徴その3】

外国人にお役立ちのコンテンツの提供(内容・提携先検討中)。外国送金、母語ニュースなど他社サービスとの提携。

※有償広告によるサービス拡充(検討中)

## 【特徴その4】

外国人向けデジタル基盤として、各種社会実験(検討中)

- 企業・自治体との協力によるプッシュ型情報提供
- 位置情報を利用した伴走支援パートナー検索・コンタクト
- 諸手続き書類作成アプリ
- 留学生等外国人対象としてビジネスコンテスト「こんなアプリが欲しかった！」(仮称)など

# その2. JP-MIRAIアシスト(相談救済パイロット事業)

2つのパイロット事業 (1年間)

~2023年以降の本格実施に向けて



JP-MIRAI(責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム)外国人相談窓口



だれでも、  
「仕事のこと」「健康のこと」「生活のこと」  
「子どもの学校のこと」「行政手続き」など、  
なんでも相談することができます。  
秘密は守ります。  
働いているところに言いません。

毎日9言語対応

英語 English	中国語 中文	スペイン語 Español
ポルトガル語 Português	タガログ語 Tagalog	インドネシア語 Bahasa Indonesia
ミャンマー語 မြန်မာစာ	ベトナム語 Tiếng Việt	やさしい日本語

期間 2022年5月23日から2023年4月30日まで

AM10:00~PM6:00 月曜日~土曜日(日曜日・祝日は休み)

ここから相談



相談したいときは <https://portal.jp-mirai.org/> を見てください。  
はじめにメールアドレスとパスワードを決めて書いてください。



企業名:  
識別コード:

本事業は、一般社団法人JP-MIRAIサービスが参加企業との契約のもと行う事業であり、責任はJP-MIRAIサービスにあります。  
+緊急で、電話以外の通信手段がない場合は、0800-050-4086にお電話ください。  
JP-MIRAIサービスに関するお問い合わせはinfo@jp-mirai.or.jpまでお願いします。

## 【企業ロット】「相談・救済パイロット事業」<企業資金>

- (1)参加企業:アイシン精機、味の素、セブンアンドアイホールディングス、トヨタ、三井不動産、良品計画 (6/30時点6社、追加募集中)
- (2)対象外国人労働者:参加企業及び関連法人(サプライチェーン及び資本関係がある法人)に勤務する外国人労働者
- (3)業務内容
  - 相談窓口・伴走支援・ADR利用:問題の早期解決
  - フィードバック:外国人労働者の保護に最大限配慮しつつ、相談の傾向などを参加企業にフィードバック

## 【JICAロット】「相談・救済窓口基盤整備事業」<JICA予算>

- (1)対象団体:JP-MIRAI会員(非営利活動に限り無償利用可)
- (2)対象外国人労働者:上記会員が支援する外国人労働者
- (3)業務内容
  - ① 仕組み構築: 様々な在留資格の外国人労働者(特に脆弱層)を対象に、JP-MIRAIポータル(アプリ)、相談救済窓口・ADR等の展開を行い、将来の仕組み構築に資する(調査研究)
  - ② ネットワーク構築:JP-MIRAI会員(自治体、NPO等)との情報交換・レベルアップ、将来的な伴走支援体制構築。
  - ③ 情報共有:質問内容の蓄積、ニュースレター発行、勉強会等

## その2. JP-MIRAIアシスト(相談救済窓口)



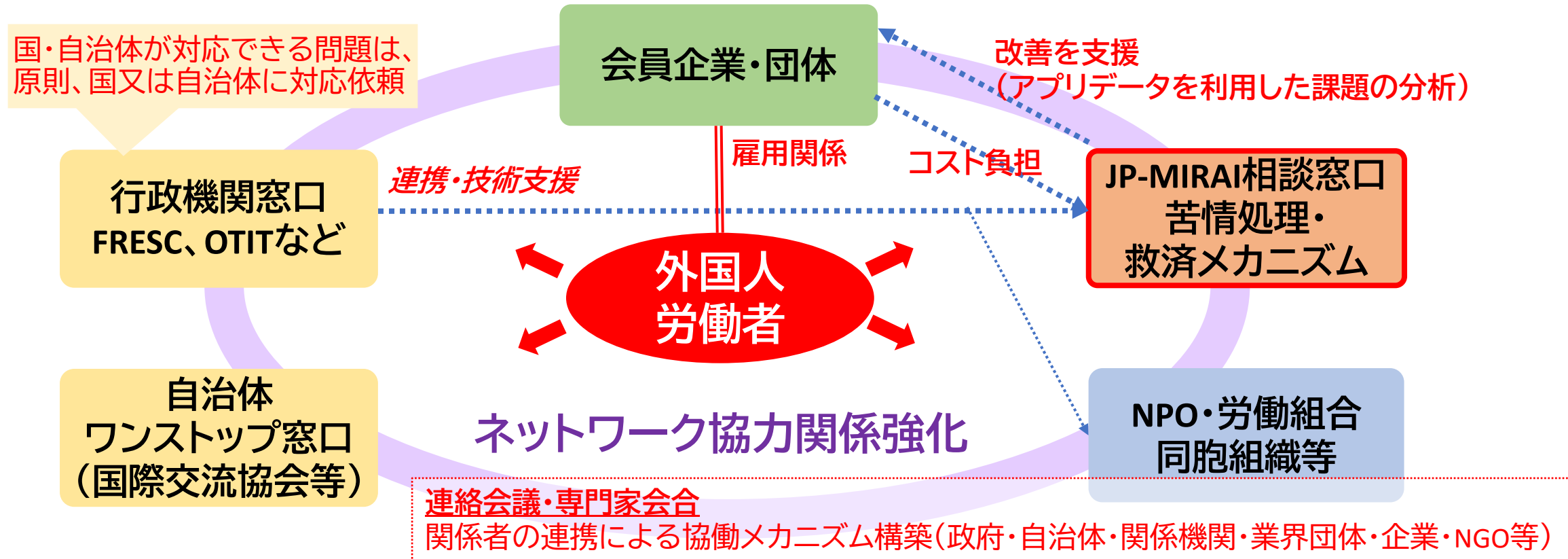
Japan Platform for Migrant Workers  
towards Responsible and Inclusive Society

### 目的1. 外国人労働者が抱える課題を最小化する(早期に解決)

- 関係者の連携によるメカニズム構築(政府・自治体・関係機関・業界団体・企業・NGO等)
- ワンストップかつ専門性高いチームとの連携、中立性・対話による解決の重視

### 目的2. 企業のサプライチェーン管理を含む「ビジネスと人権」の取り組みを支援する

- 相談及びポータルを活用し、外国人労働者の抱える課題を把握し、企業の人権DDの取り組みを支援
- 中立性・独立性の高い救済メカニズムの構築



## JP-MIRAIの活動拡大に向けて、企業及びその他外部資金の受け皿として設立

■目的 当法人は、「責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム(JP-MIRAI)」が会員団体等の資金を得て協働事業を円滑に実施することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。(定款第3条)

- 1 外国人労働者のための相談窓口・救済メカニズム構築運営事業
- 2 外国人のための相談窓口・救済メカニズム構築運営事業
- 3 外国人支援のための基盤構築事業
- 4 その他当法人の目的を達成するために必要な事業

■設立日 2022年3月18日

■事務所 東京都千代田区神田三崎町3-5-9天翔オフィス水道橋605 (5月27日開設)

■役員

代表理事	矢吹 公敏	(東京弁護士会 前会長)
理事	奥山 洋介	(トヨタ自動車 海外労政室長)
理事	穴戸 健一	(独立行政法人 国際協力機構 上級審議役)
理事	釣流 まゆみ	(セブンアンドアイホールディングス執行役員)
監事	藪田 綾子	(株式会社クラン 代表取締役)

■事務局体制

事務局長	青山伸	(トヨタ自動車;非常勤)
事務局長代行	穴戸健一	(JICA;兼職)
スタッフ	高田順子	(常勤)
スタッフ	長縄美樹	(非常勤)

# その3. JP-MIRAIフレンズ (コミュニケーション強化・助け合い)



Japan Platform for Migrant Workers  
towards Responsible and Inclusive Society

## <背景・コンセプト>

外国人に対する各種アンケート調査で、「日本人の友人がないのが残念」との回答が多数あり。団体に属していなくとも、「何かお役に立ちたい」という日本人が多い。双方向の支援で、外国人も頼られることによって、『自己肯定感』の向上・孤立防止。

投稿

投稿一覧

投稿検索

投稿者とサポーターの  
コミュニケーション



# その3. JP-MIRAIフレンズ

本取組は、(一社)JP-MIRAIサービスが**休眠預金等交付金**を活用した助成事業「在留外国人への緊急支援と持続的な体制構築(SAFOR)」による助成を受けています。

ユーザーフレンドリーなデジタル基盤を構築し、外国人及び地域サポーターに呼びかけ、情報提供／研修、登録、マッチングにより、交流促進(信頼醸成)や(引き出されたニーズに対し)必要な支援を行うしくみを構築する。表彰等によりサポーターのモチベーションアップを図り、究極的には外国人を支援することを文化にすることを旨とする。

**事業期間：2022年5月～2023年2月**

**事業費：1530万円(全額補助)**

**アプリは8月リリース予定。会員の皆様も是非ご活用ください。**

## 取組1. 外国人コミュニティ等を通じた支援基盤整備

成果:これまでリーチしづらかったコロナ禍での困窮者外国人約5,000人に情報協定が行われ、必要な場合、相談窓口・伴走支援やサポーター支援が実施される。

活動1-1. コロナ対策特設ページの新設(9言語)

活動1-2. 同胞組織20団体程度及びにインフルエンサー(個人)等を通じたJP-MIRAIポータルサイトの活用呼びかけ・登録

利用外国人: 約5,000人(目標)  
(ポータルサイト新規登録者)

携帯の位置情報や条件によりマッチング



活動3-1. 相談員配置

活動3-2. 相談(問い合わせ対応)の実施

## 取組3. 相談窓口の設置

より困難な問題(労働問題、健康問題等)の支援が必要な場合には、JP-MIRAIアシストを紹介

## 取組2. JP-MIRAIフレンズの活躍基盤整備

成果:外国人との交流や支援を希望する潜在的サポーターに研修機会を提供し、JP-MIRAIアプリに登録することによって、外国人とマッチングを行い、1,000人に活躍の場が提供される。

活動2-1. JP-MIRAIフレンズ・マッチング機能構築

活動2-2. JP-MIRAI等を通じた地域ボランティアの登録呼びかけ・登録(支援条件・内容等)

活動2-3. サポーター事前研修会(リモート)の実施

JP-MIRAIフレンズ: 約1,000人  
(シニア、学生、外国人など)

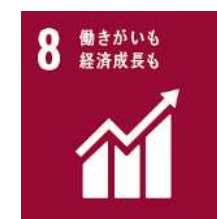
活動2-4. 外国人からのいいね!が多かったフレンズの表彰・報告会実施

## 取組4. 実績(評価)・課題のとりまとめと提言整理



Japan Platform for Migrant Workers  
towards Responsible and Inclusive Society

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



**デジタル技術もフル活用し、  
外国人との共生社会をつくりましょう**

**～皆様のアイデア・ご参画をお待ちしています**



Japan Platform for Migrant Workers  
towards Responsible and Inclusive Society